

令和5年3月24日

- 1 目的：北海道高等学校における軽音楽系部活動に所属する生徒に発表の場を与えると共に、各校軽音楽系部活動の活性化を図る。尚、当大会の最優秀バンドは5月18日（木）・19（金）伊達市にて行われる第8回全道高等学校軽音楽大会に出場する権利を有する。
- 2 主催：北海道高等学校文化連盟空知支部
後援：北海道教育委員会、北海道高等学校軽音楽連盟
主管：北海道高等学校文化連盟軽音楽専門部
- 3 部門：①オリジナル部門...参加バンドメンバーが作詞・作曲した曲の演奏に限る。
②コピー部門...既存の楽曲またはそれらの曲をリアレンジ(カバー)したものを演奏する。

4 日程及び会場

期日	行事	会場他
4/11（月）	参加申込関係書類〆切	北海道岩見沢農業高等学校 渡部 哲哉 宛 メールにて申込 <エントリーシート①②③>
4/21（金）	空知支部大会(予選ライブ)	会場 music place MP ホール 住所：岩見沢市大和3条8丁目2-2 Tel: 0126(22)5250
5/18（木）	リハーサル・交流会（全道大会）	第1日目だて歴史の杜カルチャーセンター大ホール
5/19（金）	決勝ライブ・開閉会式（全道大会）	第2日目だて歴史の杜カルチャーセンター大ホール

5 参加資格

- (1) 北海道高文連に加盟した学校の生徒であること。
- (2) 参加に当たっては、以下の条件を満たすこと。
 - ア 北海道高等学校文化連盟の目的及び永年の活動を理解し、尊重すること。
 - イ 日頃より軽音楽関連部活動で活動し、単独の学校の同一活動内に所属していること。
 - ウ 大会開催要項及び申し合わせ事項を守り、大会の円滑な運営に協力すること。
 - エ 大会参加に際しては、当該校長の許可のもとに責任ある教員が生徒を監督引率すること。
 - オ 大会開催に要する経費及び参加料・出品料等について、応分の負担をすること。
 - カ その他については、高文連専門部並びに当番校の指示に従うこと。

6 参加規程及び注意事項

- (1) 1 団体につき（両部門合わせて）最大 6 バンドまでとする。尚、同一バンドで両部門に参加することとは認めない。また、同一人物の複数バンドへの掛け持ちは任意の 2 バンド内において構成メンバーの重複が半数を超えないものとする。
- (2) 全道大会においてオリジナル部門の総合グランプリのグループについては第 47 回全国高等学校総合文化祭(かごしま総文 2023)の北海道代表権を与える。
- (3) 予選・決勝ともに 1 バンドにつき 1 曲の演奏とする。オリジナル曲の場合、歌詞カード&コンセプト記入用紙に歌詞も記入する。また、コピー部門においてカバー演奏（リアレンジ）をする場合には、コンセプト用紙に必ずその旨を記入すること。コピー曲の場合も含めて内容が高校生として不適切と思われる場合、出場を認めないことがあるので、顧問が内容をよく吟味すること。
- (4) 楽器演奏を含むものであること。
- (5) 大会参加に当たっては、個人情報保護法及び肖像権の規定に関する道高文連軽音楽専門部の方針を承諾した上で参加すること。
※氏名、学校名、学年、写真、演奏時の映像等の個人情報はプログラムや記録集、ホームページ YouTube 配信、YouTube 映像、新聞・報道機関等に掲載される場合があること
- (6) 演奏時間は、1 バンド 5 分以内とする【入れ替え、リハーサル込みで 15 分程度】。
- (7) エントリー用紙①、②提出以降の曲目の変更、メンバーの変更は一切認めない。
- (8) 決勝ライブにおいて、予選ライブからの曲目の変更、メンバーの追加およびメンバーの変更は体調不良の場合も含めて一切認めない。
- (9) 当日、会場までの行き帰り、会場内での服装は各参加校の服装規定に準ずる。また会場内の服装規定などにより、各参加校に服装の面での配慮を要請する場合がある。
- (10) 高校生としてふさわしくない行為があった場合、その学校のバンドを失格とすることがある。また、該当する高校の次大会以降の出場を停止することがある。
- (11) 予選大会は各支部で行うが、支部の事情や天候不良・災害等によってライブ演奏による審査が不可能になった場合、演奏映像を提出し、推薦会議にて決勝ライブ進出バンドを決定する。

7 感染症対策について

(1) 入場制限について

ア music place MP ホールの玄関内で、消毒し入場する

イ 大会当日の検査で、37.5℃以上、あるいは平熱の 1℃の発熱の場合は入場できない

ウ 大会当日、あるいは大会前 2 週間における以下の事項があった場合は入場できない

- ・平熱を超える発熱
- ・咳（せき）、のどの痛みなどの風邪症状
- ・だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
- ・臭覚や味覚の異常
- ・体が重く感じる、疲れやすい

(2) 大会会場について

ア 出場生徒は指示されるまで指定された場所で待機すること。

イ ソーシャルディスタンスを保ち、指示のあった部屋に移動すること。

ウ 入室の際は消毒を実施すること。

エ 大声で話すなど飛沫が飛ばないように配慮すること。

オ バンドの演奏・展開は運営・事務局の指示に従うこと。

8 参加申込手続き

(1) 必要書類・物品

ア エントリー用紙①② (参加申込書&セッティングシート)

イ エントリー用紙③ (歌詞カード&コンセプト用紙)

(2) 提出期限 ((1)のア、イ)

令和5年4月11日(火)

(3) 提出先: ※(1)のア、イは E-mail にて申込, 申込先については下記の通り。

大会副事務局長: 北海道岩見沢農業高等学校 高 橋 健 太

E-mail: ken.taka.hokkaido2013@hokkaido-c.ed.jp

9 支部大会当日について (参加バンド数により変更有。詳細は後日連絡)

(1) 会場

music place MP ホール (岩見沢市大和3条8丁目2-2)

(2) 日程

9:30~ 9:50 受付 (美唄尚栄高校の移動時間に配慮)

10:00~11:30 開会式・その後, リハ, および審査

11:30~13:10 昼食・休憩 (審査時間)

13:10~13:30 表彰・閉会式

13:30~14:30 第1回空知支部交流会

14:30 後片付け、解散

※本番時間に入れ替え・リハ込みで1バンドあたり15分程度の予定

※出場バンド数により、時刻が予定と前後することがありうる。

(3) 大会運営について

ア 審査員は3名以内とし、専門委員が依頼・決定する。

イ 後日、参加バンドすべてに審査員によるコメント用紙を渡す。

ウ 審査においては演奏技術・アレンジ力・完成度・表現力などを評価の対象とし、最優秀賞1バンド、優秀賞バンド(若干数)の上位バンドを表彰する。最優秀賞バンドは決勝ライブへ進出する。

エ 優秀賞バンドは決勝ライブ進出推薦バンドとなる。決勝ライブに進出するかどうかは、各支部からの入賞バンドならびに映像審査申込バンド(予選ライブが開催されない地区)から、それぞれの部門毎に推薦会議にて決定する。

オ 推薦会議結果は電話連絡し、後日軽音楽専門部ホームページに公表する。

カ 決勝ライブに参加辞退があった場合、繰り上げで次点のバンドへの参加依頼をすることがある。

キ 予選ライブにおいて応援・見学の生徒は会場規模の関係上入場できない。

ク 当日、大会の模様を当番校がビデオ撮影する。これは専門部公式の記録用である。肖像権等の事情がある場合は、大会参加までに事務局に連絡するようにする。自校のバンド演奏の撮影・録音は自由だが、他校のバンドの撮影・録音を行う場合は顧問またはそのバンドメンバーに必ず許可を取ること。

(4) 出演者（及び顧問）の動きについて

- ア 引率顧問及び演奏メンバーは、指定された時間までに全員揃って受付を済ませること。
- イ 演奏に際しては、控室（1バンド前、チューニング）→リハ・演奏→インタビュー の順になる。
- ウ 大会運営について不測の事態が発生した場合は大会運営委員で協議する。
- エ 大会参加生徒及び顧問に大会運営について協力を要請することがある。

10 決勝ライブ

場所：だて歴史の杜カルチャーセンター大ホール

日程：令和5年5月18日（木）リハーサル・交流会（全道大会）

19日（金）決勝ライブ・開 閉会式（全道大会）

※ 引率顧問教諭または生徒には大会当日、下記のような大会運営に参加してもらうことがある。

- ①受付 →受付、資料配付、注意事項の説明。
- ②ステージ転換対応 →ステージ転換をスムーズに行うための演奏生徒のセッティング補佐。
- ③生徒誘導 →チューニング室や舞台横への生徒誘導。

11 大会に持参しなければならないもの（運営側に準備がないもの）

- ・ギター、ベース（ギタリスト・ベーシスト）
- ・キーボードアンプ（必要な場合。PAから出力できるが、モニターは無し。）
- ・シールドケーブル（5m以上推奨。会場機材の破損も考え、接触不良が無いものを確認して持参。）
- ・ドラムスティック
- ・昼食
- ・マイクについては会場で準備をします

12 細則

(1) 予選ライブの審査・評価について、以下の場合は審査対象外とする（演奏は可能）

ア エントリーシート提出後のメンバー変更、追加または曲目変更

※ただし、メンバーの減員については審査の対象内とする。止むを得ずメンバー変更の場合は、変更・追加・減員いずれの場合でも当番校へ申し出ること。

イ 当日バンドメンバーが受付時間に遅刻、または欠席（体調不良、忌引きなども審査対象外となる）

※ただし公共交通機関の大幅な遅延などの場合はこの限りではない

ウ 引率顧問が予選ライブ当日の受付時間に遅刻、または欠席

※引率顧問については同一校の教員であれば代理可

エ 演奏時間が5分を超える

※演奏時間とは、司会者が「どうぞ」と声をかけてから、演奏を終了し、演奏者が「ありがとうございました」と結ぶまでの時間とする。

オ 高校生としてふさわしくない行為があった場合

(2) 演奏順について

大会当番校が公平に決定する。

(3) 機材についての注意

ア 楽器、アンプ、PA 機材は music place MP ホールから借用したものである。使用にあたっては細心の注意を払い、くれぐれも破損、故障等のないようにすること。

イ 使用機材一覧（急遽変更になることもある）

ギターアンプ ①Roland JC-120×2 台②Marshall JCM800 ×1

ベースアンプ Ampeg SVT810 E

Keyboard YAMAHA モチーフ 8

ドラム YAMAHA YD-9000 BD:22 FT:16 TT:13,12 SD14 Cym:CR 18,16 RD 20 HH 14

・ギターアンプ、ベースアンプなどのアンプ類は、電圧がかかったままシールドケーブルを抜き差しするなど音を出す手順を間違えると、スピーカーにスイッチングノイズ(ボンッ! というような音)が送られて、機材を傷めてしまうことがある。必ず、以下の手順で操作すること。

- ① シールドをつなぐ等、セッティングを終わらせてから、電源のスイッチを入れる準備をする。
- ② スwitchを入れる前に、ボリュームがゼロであることを確認する。
- ③ その際、複数のスイッチがある場合は、スピーカーから遠い機材を先にして電源を付ける。
- ④ ボリュームをあげて、音量を調整する。

※ 消すときの手順はこの逆になる。

- ・マイクを振り回したり息を強く吹きかけたり叩いたりしないこと。また、網の部分をつまんだり、口に斜めに向けたりすると、きちんと音が拾えなくなる。マイクをモニタースピーカーに向けるのは厳禁である。なぜなら、ハウリング(キーンという音)を起こす恐れがある。
- ・ドラムのセッティング(タムの位置やシンバルの高さ・角度など)を変えるときは、必ずネジを緩めてから動かすこと。無理に動かしてしまうと、ネジが利かなくなり位置が固定できなくなる。
- ・ドラムを思い切り力任せに叩く生徒を時々見かけるが、決していい音は出ない。ヘッド(打面)を傷めてしまうだけである。また、シンバルが割れないよう大切に扱うこと。
- ・ボリュームを上げたままでジャックを抜き差ししたり接触不良のシールドを使用したりしたときに出る『ガリガリ』という音は、出力が極端に大きい場合に、音響のシステム全てを壊す恐れがある。ボリュームを下げることを忘れないこと。また、ギターやベースからジャックが抜ける事故を防止するため、シールドケーブルをストラップに通すこと。マイクを落としたときなどに発生する音も、同様の事故につながる可能性があるので十分注意すること。
- ・持参する機材(ギター、ベース、キーボード、シールドケーブル等)は、前日までに接触不良等がないか、必ずチェックしておくこと。ステージが広く、シールドケーブルが短いことで宙に浮く状態は大変危険なので、5 m 以上の長いものを必ず用意する。また、エフェクターの電池は新品のものに交換しておく。スティックは複数本用意しておく。なお、ステージに持参した全てのものに必ず記名をすること。
- ・アコースティックギターを使用する場合、ピックアップがついている場合は基本的にギターアンプに入力する。ピックアップがない場合、マイクで音を拾うこともできるが、音量に限界があり、バンドでの演奏の場合音が聴こえないなどの問題が起こることがある。(ピックアップの準備を勧める)
 - ・キーボードを持ち込みする場合は必要に応じてサスティンペダルまで用意すること。なお、原則として出力形式は MP ホールの設定に従う。

13 大会当番校連絡先

北海道高等学校文化連盟軽音楽専門部 空知支部

代表専門委員 渡 部 哲 哉（北海道岩見沢農業高等学校）

〒068-0818 岩見沢市並木町 1-5

E-mail : tetsuyawatanabe@hokkaido-c.ed.jp

TEL : (0126)22-0130

FAX : (0126)22-5362